

2025. 3.12

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

2025 年 4 月テーマ

『人は AI や SNS などのデジタル技術といかに共存できるのか？

－「デジタル革命」時代の人文学をもとめて－』

開催日程：2025 年 4 月 12 日(土)・19 日(土)

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2025 年 4 月の立命館土曜講座は、立命館大学人文科学研究所の企画として『人は AI や SNS などのデジタル技術といかに共存できるのか？－「デジタル革命」時代の人文学をもとめて－』をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 4 月テーマ 『人は AI や SNS などのデジタル技術といかに共存できるのか？－「デジタル革命」時代の人文学をもとめて－』

(1)アルゴリズムミクな超後期近代(hyper late modernity)に生きる

－SNS の承認からトランプ政権の誕生、戦争まで－

日時：2025 年 4 月 12 日(土) 10:00～11:30

(2)AI と共に生きる社会－人間の尊厳・権利・責任の未来

日時：2025 年 4 月 19 日(土) 10:00～11:30

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeit.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 4 月テーマ『人は AI や SNS などのデジタル技術といかに共存できるのか？

–「デジタル革命」時代の人文学をもとめて–』

(1)アルゴリズム的な超後期近代(hyper late modernity)に生きる

–SNS の承認からトランプ政権の誕生、戦争まで–

日時：2025 年 4 月 12 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学 文学部 教授 遠藤 英樹

講師による内容紹介：

「デジタル革命」とは、どういう意味でしょう。「デジタル革命」とは、ただ単に、メディアの仕組みがデジタルテクノロジーを用いた仕組みに移行するということだけではありません。そうではなく、AI や SNS などデジタルテクノロジーを軸に社会システムが大きく変容し、私たちの日常の暮らしや、政治、そして自己のあり方までも変え、再帰的にテクノロジーそれ自体も新たなものへと変わっていくことを意味しています。SNS による承認欲求から、トランプ政権の誕生、戦争まで、私たちが生きる社会は「デジタル革命」のもとで大きく変容を遂げ始めているのです。私たちにいま求められているのは、私たちの暮らし、政治、感情等が緊密にデジタルテクノロジーの中で展開されるようになっていることを、ユートピアもディストピアもすべてひっくるめて、あざやかに描写し批判的に考察していける〈新たな人文学〉です。この講座では、このことを皆さんと目指してみたいと思います。

(2)AI と共に生きる社会–人間の尊厳・権利・責任の未来

日時：2025 年 4 月 19 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学 国際関係学部 教授 川村 仁子

講師による内容紹介：

これまで人間の歴史は科学技術の発展と共にありました。特に第二次世界大戦以降、科学技術は国家や企業主導の巨額投資によって研究開発・管理され、実用化され身近にあふれつつも私たちには手に追えないものになっていきました。同時に、科学技術は人間の生活を豊かにするものというよりも、その効率性や効果に重点が置かれ、あまりにも商業主義に偏重した傾向もみられるようになっていきます。そのなかで、私たちは常に科学技術に対して人間や社会が抱える問題を解決してくれるかもしれないという希望と、人間の価値基盤や社会、地球環境をも破壊するかもしれないという畏れを抱いてきました。

人間と科学技術の未来を考える上で重要なのは、科学技術の発展は目的ではなく、人間の生活と能力を豊かにする手段であることを忘れてはならないということです。今回は、近年注目される AI が人間の尊厳や権利、法的責任体制にどのような影響を与えうるのかを紹介しつつ、人間がそれをいかに利用・管理するのか、何よりも私たちは将来的にどのような社会を目指し、そこで AI にどのような役割を担わせたいのか、つまり科学技術と共に生きる社会の理念について議論したいと思います。

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>